



西山から阿尾港を望む

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第122号 平成22年7月26日

博愛園みちしお増築補助金

補正予算・条例 2p

中町長に聞く

一般質問 3p

温泉館運営早期見直しを！

委員会レポート 8p



【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai@town.wakayama-hidaka.lg.jp



内原小学校

六月定例会

第2回定例会は6月15日から22日まで、8日間の会期で開催した。

今定例会には報告6件、議案4件が提案され、慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり承認、可決した。

一般会計補正予算

日高町健康保険税条例の一部を改正

既定の予算額に5807万2千円を追加し、総額34億6347万1千円とする。

— 主な内容 —

認知症高齢者グループホーム潮風ひだか建設補助金3705万円、博愛園みちしお増築補助金1000万円、斎場駐車場関係費、212万5千円、緊急雇用創出臨時特例基金活用事業不法投棄ゴミの撤去委託料450万円、内原小学校屋根根改修工事関係費588万3千円の増額等。

町長 グループホーム潮風ひだかの内容とその財源内訳は。

住民福祉課長 今回新設の潮風ひだかは平成23年4月1日開設予定で18人を対象とした認知症対応型グループホームで、3705万円はすべて県費補助です。

今回の増設で50床となり、特養となることで、介護報酬が下がると町からの介護給付費負担金の軽減、更に利用者負担も軽減となり介護保険料への負担も軽減となる。

また、この増築により、水道使用量、下水道料金アップも見込まれる。

町長 博愛園みちしお増築への町単独補助1000万円のメリットは。

町長 現在日高町在住で博愛会で60名雇用されている。

今回20床増築されると更に20名程度の雇用が見込まれ地元雇用が期待できる。

町長 クエのぼり設置工事費25万円の内容は。

産業建設課長 鯉のぼりと同じようなもので、クエの町をPRすべく産湯海水浴場に一基設置する。

クエのぼりそのものが約10万円程度、支柱立て込みが15万円程度で計画している。

町長 内原小学校屋根根改修工事費が計上されているが現状はどうなっているのか。

教育次長 既設の防水シートが損傷してきており放っておくと雨漏りの原因となるため、今回夏休み中に塗膜防水工法で改修すべき予算を計上した。

町長 斎場駐車場造成工事費205万円の内容と駐車台数は。

町長 414㎡を借用し造成して、15台程度駐車できる。



博愛園みちしお

基礎課税分の引き上げ、後期高齢者支援金等課税額の引き下げ、介護納付金課税の引き下げ等。

町長 細かな改正案となっているが、基礎課税については全てがアップ、後期への支援分、介護費については増額の分と減額の分とが提案されているが、一人あたり、世帯あたりではどうなるのか。

反対討論

町民被保険者の収入が下がっている中で、税収の確保が出来ないから税率を引き上げる、少しでもそれを抑えるための努力をしていただきたかったという考えから反対です。

西岡 佳奈子 議員

未来をきずく

Q & A いっぽん質問

町長選出馬について

町長 秋の町長選挙を目指す

清水 正巳 議員



問 今年に入り、町長に対し、多くの団体から次期町長選への出馬要請が相次いでいる。

2期8年における学校給食の実施や乳幼児医療の無料化拡大、下水道事業の推進等々の実績が、高い評価を受けたものであると考える。体調も十分な様子でもありますが、当然出馬を考えているのではないかと思うが、任期も残すところ後4ヶ月となった、このあたりで、

態度を明確にしてはどうか。

町長 術後の検診を受けたところ健康面は全く問題ないとの診断をいただいた。

私の任期も、後僅かとなったが、年明けから多くの方々から出馬要請をいただき、力強い激励を受けている。



3期目めざし出馬表明

微力ではあるが、住民福祉の向上と、町政発展の為、今秋の町長選挙を目指して参りたい。

問 日高町発展の為、3期目に向け、頑張つて頂きたいが、やり残していることもある。

温泉館については何らかの対策をして行かねば

大きな負担となつてくる事は間違いない、どんな考えを持っていか。
町長 近年の入館者数の減少等により厳しい運営を強いられ強い危機感を持っている。

高齢者を中心とした「買い物弱者」対策について

開館以来10周年を機会に、高齢者を中心とした福祉サービスの充実、一方では観光の柱として、委員会での協議内容も十分考慮の上、健全な運営に向けより一層努力をしたい。

問 食料品などの日常の買い物

が困難な「買い物弱者」と言われている方が、全国で600万人に上ると言われている、日高町でも数百人が対象だと考える。又病院等移動手段の確保も益々深刻になつてきている

が、福祉タクシー券助成の対象者拡大や、配食サービスの充実等、買い物弱者

の対策を次期公約に組み入れていただきたい。

町長 当町においても、急速な高齢化の進展と共に、今後増加するものとみられることから、自治体と民間業者が協力を進め、買い物弱者の対策等々を次期公約に組み入れ、健康で安心して豊に暮らせるまちづくりを進めて参りたい。

問 今日高町には65才以上の方が2128人おられ、これから益々困難者が増えてくる。
移動手段としてはコミュニティバス・デマンドバスの考えもあるが、とりあえずは町内の実態を早急に調べて、次の段階に入つて頂きたい。
町長 町全体の中で大事な事であるので、十分検討する。



玉置 正之 議員

子宮頸ガン予防ワクチン接種に助成を 町長 早いうちに実施したい



問 全国で年間1万人以上が発症し、3500人が死亡されている。昨年10月に予防ワクチンが国内で初めて承認され、12月から任意接種が始まった。

10歳以上から接種できるとのことである。

当町の子供の将来を考えると、町内小学生・中学生を対象に実施されることを強く望むものである。

町長 予防接種が大変有効でワクチンで唯一予防することが出来るガンと云うことです。

子育て支援や少子化対策に取り組み、大事に育て上げた貴重な人材を失うことは社会にとって大きな損失であり、次代を担う人材を大切に育てるため、或いは、ご不幸な家庭を少しでも減らすため、予防接種が出来ないものかと考えましたが、医療費の無料化を中学生まで引き上げを決めておりましたので、財政負担のことも考え、接種を見送りました。

当町の人口減少の歯止めは

問 町内一学年女子生徒35名程度であり、ワクチン接種は一人3回必要で、接種費用は一回で1万7500円、3回で5万2500円掛かるが、若い将来ある子供達の為に、年間200万円程度支出してもよいのではないかと、将来花も実を結ぶであろう子供達の為に早い時期に実施していただきたいと思うが。

町長 出来るだけ早いうちに実施したい。

問 日高町は地理的条件がよく、また町長の決断により、他の近隣市町村よりもいち早く少子化対策等に取り組み、卒業まで医療費無料化、0歳児保育、学童保育の充実等、子供の育てやすい環境整備を行った

また下水道事業が町内全域で完了したことなどが、民間業者によるアパート建設や宅地分譲が進む要因となり、加えて、医療費無料化の対象年齢の拡大や、0歳児保育、学童保育などが、転入

問 町内一学年女子生徒35名程度であり、ワクチン接種は一人3回必要で、接種費用は一回で1万7500円、3回で5万2500円掛かるが、若い将来ある子供達の為に、年間200万円程度支出してもよいのではないかと、将来花も実を結ぶであろう子供達の為に早い時期に実施していただきたいと思うが。

町長 出来るだけ早いうちに実施したい。

問 近隣市町村と比較して、土地が安価であることのほか、町内全域の地籍調査が完了し、境界が明確になった。



増える住宅

結果、人口減に歯止めが掛かっているように思われるが、今後人口増加に向けた取り組みが、大きな行政課題になると思うが。

増加に影響していると思う。

今後も、財政運営の健全化に努めるとともに、さらなる行財政改革を積極的に推進し、子供から

お年寄りまで、健康で安心して暮らせるよう各種施策を講じ、人口減少の歯止めにつなげたい。



市ノ瀬 進 議員

中町長に聞く

町長 3期目は花を咲かせ実を稔らせる

問 3期目の町長の公約を聞く。

町長 私なりに1期・2期目は、土を耕し、種をまき、水をやり、肥料をまき、大きく育ててきたことで、一定の成果があったものと認識している。3期目はこれに花をさかせ実を稔らせるよう誠心誠意、努力することを考えている。

現在策定中の長期総合計画に基づき、少子高齢者対策の推進、東南海・南海地震に備えた防災対策の充実、農漁業、商工業、観光産業の振興、県道を主軸とした道路交通網の整備等々に加え、自治体と民間業者が連携しながら買ひ物弱者対策に取り組むほか、財政運営の健全化に努め、さらなる行財政改革を積極的に推進し、子供からお年寄りまで、健康で安心して暮らせるような各種施策を講じ、活気あるまちづくりを考えている。

下水道事業の その後は



接続率増を待つ高家処理場

問 東内原地区の加入者等、萩原・荊木・高家等の加入者数及び現在宅内工事の完了数について。

町長 東内原地区の加入及び接続状況で、5月末現在萩原地区では227件加入者に対し、宅内接続が125件で、55.1%、荊木地区は246件の加入者に対し接続が128件で52.1%で、処理区合計では839件の加入者に対し374件で

44.6%の接続状況である。

問 平成20年から着手しているが現在萩原荊木地区で52%であるが23年3月までに完成が出来るのか。

上下水道課長 下水課としては、出来るだけ多数の方に接続していただくように努力して、100%に近づけられるように頑張っていきたいと考えている。



宅内配管工事現場

町営公園等について

問 数年前につくり子供連利用されているが、公園又はトイレをもつときれいにすべき、管理はどの課でされているのか。

町長 住民福祉課と上下水道課で管理して清掃業者とも関連があり見張りをしているような状況であり、今後二度とそんな問題を出さないような指導をして、課挙げて皆さんに喜んで頂くよう取り組んでいきたいと思っています。

西岡 佳奈子 議員



阿尾不毛の整備計画は

町長 遊歩道や野鳥観察小屋など

問 阿尾不毛一帯について県が園地計画にとりかかったという報道があった。

現在、実施計画にとりかかっているとき。

計画の策定、整備にあたっては地元住民や町、生物、地質などの専門家の意見や要望の集約、反映が不可欠。

計画の概要、また今後の事業の進め方は。

町長 遊歩道、自然資源の案内標識を中心とした散策路と駐車場、野鳥観察小屋などの整備を考えていた。

設計初期段階から環境関係有識者、町および教育委員会、地元区、県道管理者などの意見を聞いて設計を進めると聞いている。

町内の意見を集約調整し県に要望していきたい。

問 現在の県の計画の中には公衆トイレが含まれていないが、どう考えられているか。

町長 県内外から観光にきていただくとなると公衆トイレが必要だと思う。



公園整備が予定されている阿尾不毛

県と話をしたい。

建設課長 維持管理を町が持つとなった場合、経費のことも考えなければならず、そのことも考慮し検討していきたい。

問 阿尾不毛の価値をどうみるかということが今後の取り組み方に関わってくる。

広さ的には県内一の規模、野鳥やトンボ、ヨシの群落など、貴重な自然環境だといわれている。

地元の皆さんや学識者さん等の意見を十分調整して取り組んでいただきたい。

町長 喜んでいただけるよう取り組んでいきたい。

シルバー人材センター 設立を

問 周辺町で相次いでシルバー人材センター事業がスタートしている。

高齢者の就労や社会参加の場を広げ、住民生活の身近なニーズに応えるなど高齢化社会の中で求められている組織である。

設立主体がどこになるにせよ準備段階でリードしていかねばならないのは町である。

設立に向けての取り組みを。

町長 安心して任せられる委託先が確保できなければ難しい。

十分研究検討したい。

問 シルバー人材センターが必要と考えられているのか。

町長 高齢化社会に向けて必要になってくると思っている。

やはり町がリードしなければ進まないと思うので、関係者にも集まって

いただき、いい方向になるよう取り組んでいきたい。

会員さんが何人くらい集まってくれるかということも問題だと思う。真剣に研究検討していきたい。

問 立ち上げの準備段階で県の補助金もある。

県や労働局にも相談し、取り組みを進めていきたい。

町長 取り組んでいくという事でご理解いただきたい。

事務局、芯になる人が一番大事だと考えており、そのことも十分勉強させていただきたい。



松本 秀司 議員

谷口交差点の早期完成を 町長 本年12月末の予定



工事中の谷口交差点

問 県道谷口交差点の拡幅工事について、いつ頃完成できるのか。
町長 改良工事は、平成19年度から実施している。

現在施工中の工事については谷口橋から西側は8月17日、その後東側の工事は、12月末に完成予定と聞いている。

問 谷口橋が完成してから、工事があまり進んでいないように思うが、その理由は。
産業建設課長 繰り越した予算との関係上。

問 交差点の現状は、道路がでこぼこだったり、雨水がたまっていたりとかが続いており、通行に支障があると町民の声をよく聞く。できる限り早く工期を進めるよう、県へお願いしてほしい。
産業建設課長 県に対しては要望をしていくが、従来、県道はコンクリート舗装が先にされており、これをすべて取り除いて、アスファルト舗装にする

る計画のため、工事の間もかかるのでご理解もお願いしたい。
問 現在の工事にもなない、終日時間制限がおこなわれ、片側通行となっている。
町民 から信号の待ち時間が長すぎるのではないかと不満の声を多く聞くが、もう少しスムーズに車が流れるようできないか。
町長 歩行者や車両等の安全を第一に考え、信号機を設置し、待ち時間を20秒短縮し混雑の緩和をしてもらっている。
問 待ち時間が2分30秒になったが、朝夕の通勤ラッシュの1時間を以前に調べた時、車両が約1000台が交差点を通行する。
信号待ちを避けて、脇道の小中学校の通学路を車が入っていく。
もう少し待ち時間を短くできないか。
産業建設課長 長い片側通行区間、単純な信号機で時間調整ができない。

今年の海水浴場

ご理解願いたい。
問 これから夏の海水浴シーズンを迎える。
町外からたくさんの方が来る。
朝夕の通勤時間帯について、もう少し検討してほしい。
問 町が駐車場用地約1700坪を6200万円で購入。
今シーズンから町も出資する日高町地域振興株式会社が、産湯海水浴場を運営していくということである。
今後、町民に何らかの形で考慮されるべきであると思うが。
町長 駐車場料金等については、日高町地域振興株式会社で決定することになる。
問 町民が今まで以上に海水浴場に足を運んでくれたらありがたい。

委員会レポート

総務福祉委員会

保育所を視察

委員会は5月19日に開催し、昨年まで実施していた派遣保育士に頼る保育所運営を改め、新年度から町が直接雇用した臨時保育士による保育所運営を視察した。当日、視察前に担当課から各保育所の定員、園児数、保育士の配置等の説明を受けた。保育士は全員で37名、そのうち正職員14名、臨時職員23名である。

次に今年度より志賀保育所に於いて、0歳児、1歳児、2歳児の定員を倍増しての保育所運営の計画を立てたが、今現在では各クラスに於いて定員に達していないとの説明であった。

その後、比井保育所を

訪問し所長から保育業務についての説明を受けた。今年から当保育所では園児数が20名と少ないため、2歳と3歳児合わせて7名で1クラス、4歳と5歳児で1クラスの複式保育を実施しているとのことである。

その後志賀・内原保育所を視察した。また各保育所とも今年度から保育士全員がバスに添乗することにより、更なる保育の充実が図られている。

視察後の委員会で、各委員からは保育行政



保育風景（比井保育所）

について関心度が高い。昨今、役場から離れている施設ではあるが、もともと保育所に出向いて実状等を把握し適切な指導も必要ではないかとの意見があった。

また新年度から、町が直接雇用した臨時保育士を含めての保育業務についてはスムーズな運営が出来ているのではないかと

温泉館運営 早期の見直しを！

産業教育委員会

委員会

当委員会は、温泉館の今後の運営等について、3回にわたり開催した。

開館以来、丸10年となることから

経緯を聞いた後、検討に入った。

開館当初は10万人の入館者を見たが、21年度は6万人に、売上げも、5千2百万円から3千万円にまで落ち込んでいる事、途中からは、すべて臨時職員に切り替えたり、又入館料の値上げを行ったが、入館者数の落ち込みをカバー出来ず、累計赤字はますます増大している。

実績経費から見る損益分岐入館者数は約7万人であり、以前からもこの事については、議員からは指摘を続けているが、福祉での施設である旨の回答だけでなく、特別に福祉的な対策又改革案を出していないのが現状である。

近隣の温泉は町民の利用を高める為に、高齢者に低料金での利用を実施して、福祉面でも対応し、増客につなげている、又経営方式（指定管理者方式、民営化）も運営方法（特産品販売等）もこの辺で見直し、増収につながる必要ありとの指摘が多く、執行部に要望した。

その後執行部からは従業員数の見直し、又高齢者福祉対策としての対応を検討する旨の回答があった。

したが、実施時期、高齢者対象年齢等細部の決定は決まっていない。

特産品販売等は実施に向け検討していきたいとの回答であった。

又、海水浴シーズンには駐車場に長時間にわたり車を止めるお客様が多く混雑すること、温泉館利用のお客様専用駐車場であることから、駐車場入り口で入館料金を徴収することも検討した。

いずれにしても、何か手を打っていかねば、更に大きな負担となってくることから委員からは厳しい意見が出た。

編集後記

国の方では、消費税議論が出されていますが、時期尚早であるような気がします。

多くの声を聞き判断することも大事ではないでしょうか。

議会だよりも出来るだけ多くの方の声を反映できるように充実した中身に心掛けて頑張っています。

多くの御意見をお待ちしています。

金崎